

双葉町復興まちづくり計画（第一次）案に対する意見

＜パブリックコメント：平成 25 年 5 月 23 日～31 日募集＞

※表題部分の区分は、帰還の見通し・帰れないという判断を求める意見、双葉町外拠点（仮の町）・復興公営住宅の整備を求める意見、埼玉県・加須市・白河市に復興公営住宅の建設を求める意見、賠償問題の早期解決を求める意見、除染の早期実施を求める意見、中間貯蔵施設の取扱いについての議論を求める意見、双葉町の将来のまちづくりに関する意見、復興まちづくり計画の評価に関する意見、その他（これらに当てはまらない意見）に区分し、主な内容と思われるものを対象として分類しました

1 復興公営住宅の整備を求める意見

この度の改選で町を背負うことになられた町長さんをはじめ、議員の皆様、町役場の皆様、難問山積みでどんなにか御苦労が多いと思います。どうぞお体を大切になさって何とかこの難局を乗り切ってくださいませよう。心よりお願い申し上げます。

私も愛犬 2 匹を失いました。愛護団体の方につれて来てもらいました。一時は失意のどん底にありました。そんな時、愛護団体のシェルター（峰ヶ崎）に 2 度びっくり！！体育館のような所に、4～5 百匹の犬猫が保護されていたのです。どの子も主人を求めて泣き叫んでいるのです。死んだ子供の供養に一匹助けてもらえませんかと言われ、今チワワを引き取って育てています。一人暮らしの私にとって、かけがえのない存在で、そこにいてくれるだけで、心の安定が保たれています。今お世話になっている柏市は、とても優しい町で、市をあげて支えてくれています。特に、町の動物病院の委員長さんが先頭に立って、この NTT の社宅にペットと暮らせるように、取り計らってくださいました。2 年間は無料で診療にあってくださいました。

私のただ一つのお願いは、今後復興公営住宅ができることです。ペットと暮らせる住宅を提供してほしいことです。先日（中野サンプラザ）の町長さんの誠実な分かりやすいご説明を受けほっとするやら、うれしいやら、目の前が明るくなった気持ちで足取り軽く帰宅しました。一緒に行った人たちも「来てよかったね」と口々に話しながら帰りました。

誰もが一日も早く終の住家に落ち着きたいと思っています。

そのためにも、町民一人一人が、後ろばかりにしがみつかないで、ポジティブにしっかり前を向いて、協力していかなければと考えます。どうぞよろしく願いいたします。

周りに振り回されしないで、自信を持って進んでいってくださいませよう重ねてお願いいたします。皆様のご健康を心より願っています。

2 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

仮の町に移り住みたい。移転することを希望する。

海の方を希望する。いわきです。

3 双葉町外拠点（仮の町）・復興公営住宅の整備を求める意見

帰還の見通しを求める意見

伊澤町長、町職員の方には日夜御苦勞をお掛け致しております。

私は郡山富田町仮設にお世話になっているものです。先日町政懇談会へ行って参りました。双葉町仮の町もいわき市、郡山、南相馬も候補地ということで、私も出来ればいわき市に移り住みたいと思っておりますが、無理と思われまます。

先日双葉に5月18日帰ってきましたが、住み慣れた双葉は戻りたいと思いますが、現在廃墟の町となっております。懇談会で言ったのですが、少しでも町の倒れた家の片づけ等質問したのですが、中間貯蔵施設が決まらなければ、片付けが出来ないとの事。民主党の野田政権で、原発は終息としました。今だかつて問題を抱えております。なお、埼玉県騎西高校の避難所は、閉鎖するべきです。公営住宅はビルでなく一軒家が欲しいです。土地の問題等で不可能ということですので残念です。今後インフラ等の復旧をして、線量を下げてください。双葉町内全体定点線量率測定を見ますと、まだ帰れる所ではないことがわかっておりますが、少しでも帰れる日を近づけていただきたい。伊澤町長は井戸川町長の後片付けは大変ですが、頑張ってください。

4 帰還の見通しを求める意見

復興公営住宅の整備を求める意見

- ・自治体として、戻ることを前提としているのか分からない。
- ・戻るにしても、線量が高い、除染をしても住むには難しいと思う。中間貯蔵施設の問題もある。
- ・現在「セシウム」のみ、クローズアップされているが、「プルトニウム」「ストロンチウム」については、まったく報道されないのはなぜか。このような状況で、帰ることを前提とした復興計画はおかしいのではないか。
- ・復興住宅は、集合住宅ではなく、戸建住宅でお願いしたい。

5 その他

色々なアンケート結果を見ても、帰れないという考えが多い。本当に帰る気持ちであれば、まず今一番にすることは、各家庭の内部の整とんである。今月帰ってみて、家の中に多くのネズミのフンが多くみられ、非常に臭かった。10年後帰る見通しがついても、壊れた現状の家に帰る気持ちが出てこない。家が段々とダメになっていく様が見える。町は大きなことばかり考えているが、まず、最初は、小さなことからの復興が、大切だと認識しなければならない。本気でやってください。返答を望む。

6 その他

双葉町外拠点（第一、第二、第三）には、双葉町役場支所を置いてほしいと思います。自ら住まいを探すのにも、支所の近くをと考えているので、双葉町外拠点と支所設置の場所を早く知りたい。

7 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

帰れないという判断を求める意見

双葉町は一番遅れている町ですので、早く復興まちづくりをしていただきたいです。帰れないのであれば、帰れないとはっきりしてください。

8 双葉町外拠点（仮の町）・復興公営住宅の整備を求める意見

いわき市に仮の町、山の中でもいいから全体と一緒に住めるように行政区に関係なくまとめてもらいたい。

住居は、一軒家の方がお互いのプライバシーが守られて良いのではないのでしょうか。仮設は隣同士がとても静かな人なら良いのですが、気兼ねしながら暮らしていますので、1年が限界です。一日も早くゆっくりできるようにして下さい。

9 復興公営住宅の整備を求める意見

復興住宅は、県外には必要ないと思います。

双葉町に帰りたい。帰りたいと思うなら、少しでも町（双葉）に近い、そして、福島県内だけでいいと思う。県外に住んでいる人たちももう少し国政・県政・町政を考えて、良識ある行動をして、一日も早く町一つになって、前双葉に戻りたいものです。

県外に復興住宅を造れば、前町長と同じく、今の騎西高校にいる人たちの様になるのではないか。絶対に県外には必要ないと思う。

10 帰れないという判断を求める意見

- ・仮の町は本当に希望している人は、ごく少数と思います。
- ・学校は必要なんですか。子供たちの本当の教育を考えると、どうでしょう。
- ・ライフライン、特に上下水道の復旧には40～50年かかるのでは。それから、病院、道路、スーパー等が出来るまで、何年・何十年と掛かるでしょう。
- ・古郷への帰還は無理でしょう。帰れないと正式に発表された方がいいと思います。

1 1 除染の早期実施を求める意見

仮の町をつくる経費を古里双葉の除染に向けることを関係当局と話し合いました、一日も早くわが町に帰れますよう、段取りしてください。もし、仮の町など造ったらびっくりです。たとえ、仮の町でよその田畑を耕作しましても、熱が入りません。ですから私は仮の町を造るのは大反対です。古里を愛する農民です。伊澤町長様よろしく願いいたします。

1 2 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

高齢者一人暮らしが残った人生を双葉の方々と共に集合体の型で暮らし、最後の人生を終わりたい。

1 3 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

①町長様、議員様、行政に携わっている方に対して、心より厚く御礼申し上げる次第です。私共と同じ避難生活の中ですから大変だろうと思っております。お身体には十分気を付け、活動してください。

②今までに何回ありましたでしょうか、町政懇談会。もう行政の方で結論を出していただきたいと思うのです。町としての方向性を決め、“双葉町はこのようにやります”それでいいと思うのです。皆さんの意見を聞くことも大事ですが、今までの中で、各自の考え方は決まっているものと思います。先日、5月21日の懇談会の中で、埼玉にも仮の町をという話がありましたが、住めば都の話のように、2年間も住めば、“都”になるのかなと思います。この件について、私は反対しないが、やはり故郷に近い方に出来るだけ多くの町民が集結できるようにしていただきたいと思います。

1 4 復興公営住宅の整備を求める意見

帰還の見通しを求める意見

5月21日騎西高校で、町長さんの話を聞いた。4年間は何もできないとのことで、4年後、線量、その他の状況で方向性を考えるとのこと。

☆自分の考えを書きます。順不同にて。

・いわき市や郡山市へ、一戸建ての復興住宅が出来るならば、そこを希望します。公営住宅（団地）3DKなどなら希望しません。あまりにも狭いからです。被災後住居経験あり。ただ、復興住宅の実現化がいつになるのかな。

・4年後も状態が現在とあまり変化がないと思われる。仮に除染が始まったとしても、地下水、河川、山林など、専門家が出来るわけがないと言っていた。

・いろいろ言っても福島県内にはいつかは戻りたい。現在でも、知り合い、親戚など、皆住居を購入している。

・今～1年～2年後には、福島県内に住居を購入したいと思っている。できれば中古住宅を探してはいるが。

- ・高速道路の無償化、借上げ住宅の期限など心配があるが、4年間何もできないのであれば、この件も継続延長になるはずであると祈る。
- ・最後に、騎西高校の一時避難所は、要介護者関係（25パーセント位）を除き近いうちに閉鎖をするべきである。最近まで1年間仕事をしてしたが、悪評が絶えなかった。

15 その他

基本理念の考え方、どうすればよいか。

現状は全国各地に避難生活をしている人々が、安心して居住できる、県も町も国も真剣に再度原発事故で悩んでいる人たちの身になって欲しい。

16 復興公営住宅の整備を求める意見

1、災害公営住宅を早期に整備すること（高齢者は一戸建て）高層はダメです。3Kを多く作ってください。

1、医療機関が遠くない場所

1、スーパー等も遠くない場所

1、行政単位もいいが、知人、友人の近い場所

1、交通の便が良い場所

1、早期にお願いいたします。遅ければオカクレになる人が多くなります！！

1、避難生活はもう限界です。

1、住民票のカード化をお願いいたします。（富岡町方式がいいと思います。現物は見ておりませんが写真つきだそうです）

1、年十朝日の入らないところにおります。本日もこたつが入っています。

17 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

あの場所に家があり、あそこに病院があり、あそこに作業所があり、あそこにコンビニがあり、あそこに役場があつてこそその双葉町であり、仮の町にはあまり期待できない。

18 その他

早く自分の終の住家がほしいです。

補償の問題も千差万別で、住家が決まらない。いつ、どんな引越になるのか分からない。でも、不自由で求めた安物の家具類。先に求めた人には、補償が出て、私のように我慢できず、必要に迫られてから求めたものには範囲内（1人252,000円）の中に入るという。それでも、前に求めた人に（1人252,000円）が支給される差に、納得がいきません。そんなお金の問題より、今まで不自由なく過ごしていた自宅に戻して欲しいです。お金に変えられな

いものがいっぱいあります。近くにいた子ども達と離れ、親戚・友人・知人とも離れ、周りに知っている人もなく、この歳に（75歳）なって、こんな暮らしをしなければいけないのかと思う毎日です。知らない土地で、一人暮らしをしているものとして、早く双葉町の「まちづくり計画」が進む事を希望致します。

温暖なところで、一戸建て、せめて地区の人が近くに。

19 復興公営住宅の整備を求める意見

- ・先の見えない生活、高齢者にとって毎日が非常に不安な生活をしております。一日でも早く復興住宅建設して欲しいです。
- ・行政区ごとに生活するのは無理だと思う。せめて、3～4ヶ所にまとまりたいです。
- ・町では、個人情報保護のため、電話帳を発行しないということですが、今までの近所付き合いでいた友達に連絡できないようでは残念です。せめて行政区ごとでもよいので発行して欲しいです。

20 その他

答申を受け行政の進捗状況を随時広報していただければ、進展した納得した住民、意見も出てくると思います。国、地方行政の絡みも錯綜し、数年は判断に苦しむと思います。

21 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

山・海・川など美しい古里双葉町には、もう帰宅をして住むことができません。放射能が多くて50年以上は消えないのでしょうか。原発事故で双葉郡内の住民が、苦しんでいても、東電も国も他人事の様で無責任です。

双葉町長様、加須市内復興災害住宅を早く造ってください。お願いいたします。

22 復興まちづくり計画の評価に関する意見

双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

今にして思うと、事故によって、一瞬にして私たちの地域が闇に消え失せてしまったかのようなこの度の出来事、そして、全住民の悲痛な避難生活、それにも増して、町の復興に向け日夜御奮闘なされている町職員の皆様、並びに「双葉町復興まちづくり」に取り組まれてきた、その翠の「第一次計画書」を、本日お送りくださいます感謝とお礼を申し上げます。

内容を一読させていただくと、皆様方の御苦勞によって素晴らしい形で、まとめられ敬服しております。町民の意見の各項目の分析では、町を失った住民の悲惨さや、望郷の念のあらわれが数字となって現れていて、心を打たれます。

しかし、起きてしまったことは、如何しようもなく、「第一次計画書」にあります通り、町民の意向を尊重されて、進めている町当局の皆様を尊敬しています。良い方向にまとまって、

いかれますように念願しています。

私自身の考えは、一向に参考にならないと思っはいますが、所感として記述させていただきます。

・双葉町は原発の拠点に近く、町の困難度は、他の町村より大きく異なる難問も抱えての復興に関しての御苦勞は多大です。

・果たして、除染して今後住めるようになるのでしょうか。この心配が先にあり、住めるとしても何年先になるのか遠い年数が続きはしないか不安です。

・今回の再編は、町の 96 パーセントが帰宅困難区域でありますし、平成 29 年の区切りを表していますが、あと 4 年後どのようなようになるのか不明確な状況で、どうすればよいのか判断に迷い、難しく思います。

・町民の意見としては、近くに「仮の町」を置き、各方部に支所をつくって、住民の避難生活の利便を図っていただくのが、差し当たっての方策であると考えます。

・問題は、県外で避難されている方への負担があります。町当局からのご連絡も莫大で御苦勞が伴います。また、遠隔地である住民の不便もない訳ではありません。

◎したがって、長期にわたる避難が続くのであれば、可能な限りの町民が一同に集結できる土地と、住居が必要であり、国が率先して国有地利用の構造など、東電はもちろんのこと、県や国に対して運動がどうかと考えます。

◎双葉郡町村議会の連携推進が弱いように感じられます。議員の立ち上がりに期待します。

2 3 帰れないという判断を求める意見

線量が高い双葉町に戻ることに對して、疑問がある。戻れるとの判断があるから賠償額が少なくなっている。国から“戻れない”との結論を出すのも勇氣ある選択だと思う。

人間として、危険のある場所に戻る必要はない。安心・安全は国や東電が決めるのではなく、住んでいた住民が選択できるようにしてほしい。戻らないと決めた人の家や、土地に関する固定資産税の問題が、今後どういう扱いになるのか。

戻らない（住まない・住めない）場所に税金がとられるのはおかしい。

2 4 帰還の見通しを求める意見

・原発事故がまだ終息していないのに、本当に双葉へ帰れるのですか。いつですか。本当に帰れるのですか。帰る前提で物事を進めるのではなく、もう少し、違うことを考えた方が。誰が双葉へ帰ると判断するのですか。もし双葉に帰る日が来たら、本当に生活できるのですか。

・町民のきずなの維持とか書いてありますが、はっきり言ってないでしょ。今自分の生活が第一で、他の人を考えている余裕はないと思います。避難してから、誰一人として、連絡をくれましたか。町長さんが一軒一軒顔出ししましたか。福祉課の人だけでしょ、来たのは。電話で苦情をしても、電話に出た人は、「上のものに伝えます」と言って、したかしないかは分かりません。何の解決にもなっていないですよね。何の連絡もないし。町と一緒に埼玉へ

避難しなかったからでしょうね。悲しいです。

25 復興公営住宅の整備を求める意見

復興公営住宅を考えております。

新聞で郡山市に公営住宅が来月から造るようですが、双葉町の私たちも一日も早く住むことができるように双葉町の町長さんをお願いします。

町として、公営住宅を造る計画はあるのでしょうか。何かの機会に教えて欲しいと思います。復興公営住宅であれば、場所は特に選びはしません。一日も早く県内に帰る日を待っていますので、復興公営住宅のこと大変なことはよく分かりますが、くれぐれもよろしく願いいたします。

26 復興まちづくり計画の評価に関する意見

- ・よくあそこまでまとめられたと思います。ありがとうございます。
- ・よく「戻らない」と聞きますが、本音は「戻りたいけど戻れない」です。
- ・子どもの進学により、今の借上げ住宅から、引っ越さなければなりません。この先、どうなるか不安です。
- ・・・・いろいろあるでしょうが、「双葉町」という言葉を聞くだけでも、ほっとします。訪問してくださる町の方ありがとうございます。仕事や進学で、仮の町に行けそうにありませんが、いつも、双葉を思っています。

27 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

「双葉町復興まちづくり計画」の参考資料をいただき、ただただ頭の下がる思いです。多くの学識経験者、見識者、町民の意見や提案、そして思いなど、多くの時間をかけて話し合われ、貴重な意見が反映されているものと思われました。

これからは、優先順位を決めて、実行に移して欲しいです。

私の考えは、まず「双葉町外拠点」を整備して欲しいとのこと。そうすることにより、町民のきずなの維持、発展に向けた取組にも、つながると思われ。いつまでも、机上の空論にならないように願うだけです。

それから、町民の一人として、何でもかんでも行政にお願いするだけでなく、自立した考えで、自分で考えを持っていきたいと思っております。

28 復興公営住宅の整備を求める意見

復興住宅が出てきて、住むとすれば、原町かいわきだと思う。心配なのは、子供たちだけなのだが、子供たちのことを考えると、育つまで、10年かかるので、その間に子供たちが双葉のことを忘れるのではないかということです。

その頃私は、70歳なので、双葉で住んでもいいと考えていますが、子供達は、埼玉に慣れて、帰る可能性が低いと思います。家族がバラバラにならないように何かいい方法はないかと、考えています。親が降りるか。子供が降りるか。

29 帰れないという判断を求める意見

双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

復興まちづくりご苦労様です。

私の考えですが、双葉町に戻るのは無理（中浜準備区域）。子供孫を連れて戻るとは有りません。双葉町に近いいわき市に永住になると思います。私も仕事上除染については色々考えますが、山・田・畑などは無理です。

半減期で20年です。20年で50パーセントまでしか線量が下がりません。今は元気でも20年もいつまでも元気では、いられないと思います。いわき市に仮の町づくりが一番だと思います。双葉町懐かしいです。

30 その他

昨年暮れの、いわき中央台における原発避難者といわき地元住民の攻防戦、ついに、双葉も、本丸をいわきに移し！復興まちづくり、声をあげるなら、役場安定と避難所の方向性を示し、他市町村と同じ様な目線、土俵に立ってからでもよいのでは？賠償金増額をもくろんだ、埼玉弁護士会への公金投入から端を発した！？他の地域に避難した町民との軋轢、一部の人たちを潤したのか収支決算報告もない！！騎西避難所には、埼玉県内外に、居住を持ちたまに、覗いたり、週末を過ごしたりと二重に居住する裕福なセレブ系の人もいると聞きます。県内の仮設にも、多くの独居老人が日々の生活に喘いでいます。避難所の声として、よくプライバシー云々の話を聞きますが、嫌な人々はみんな退去したのでは？二年も経つので、何か達観したいと思って残ってらっしゃる？また、たまに、避難所に行くと臨時職員の中に、ジョークなのかもしれないが。親方日の丸的感覚の方も？？役場移転の状況が気になる。町民か否か判断できない時こそ思うが、仕方がないのかな？仮設住宅には、色々な訪問販売がすり寄ってくる。復興予算が大きく東北にシフトされそうな今、復興住宅名目で埼玉県も予算分捕りに頑張っていると聞く。町政過度期の今避難民支援を謳った有象無象のものが闊歩、絡め盗られない様に賢く利用したいものだ。

拉致被害者の家族が、私たちには時間がないとよく聞きます。原発避難者の私たちもそう長くはない。一時帰宅というガス抜き、自己責任で浴びる大量の放射性物質、因果関係の分からぬ突然の疾病、何を基準にしたか分からぬ空間線量自前のGM管との差に、やり場のない万感の思い、双葉丸が、泥船でないことを祈りたい。いわき市長は、パチンコは目の敵

だが、競輪は市長もお勧めしているようだし、大いに、車券を買っていわき市の税収に貢献しようではないか！！競輪は公共事業であり、有効娯楽ではないようだ！！相双地区にも多くの競輪選手がいます。皆で車券を買って応援しましょう。桜花爛漫の故郷を險に！！

3 1 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

双葉町の将来のまちづくりに関する意見

中間貯蔵施設の取扱いについて議論を求める意見

①復興への思いについて

- ・人間としての復興をまず手助けしてほしい
- ・「ふるさと双葉町」といっても汚染されたところに戻ろうとしているのは間違っていると思う

②住みたい場所（仮の町を含む）

- ・一日も早く仮の町をつくってほしい
- ・行政単位で住みたい
- ・放射能のない安全な町に住みたい
- ・買い物ができ、医療機関が近くにあり、家族と一緒に暮らせるところ
- ・復興公営住宅を早く作ってほしい
- ・生活のパッケージがほしい（住居、仕事、医療・福祉）
- ・庭付き、一軒家がいい
- ・高層ではなく低層の建物がいい
- ・仮設ではなく核となる復興公営住宅があり、その周辺に一軒家があるものを早くつくってほしい
- ・仮の町ができた時、そこに移ることができなかった人にも同等の補助なり支援が必要なのではないか
- ・複数の選択肢を用意し、個人が選べるようにすること

③仕事・産業について

- ・若者が仕事のできる環境が必要
- ・事業再開を目指す人に仮設工場・事務所を提供すべき
- ・新しい産業を興すことが必要

④教育について

- ・時間が経てば経つ程子どもたちはばらばらになってしまう、早く学校を再開したい
- ・学校再開は町復興のシンボル
- ・子どもは学校に慣れたおかで早くしないと現在の場所に定着してしまうと思う
- ・町独自の教育ビジョンがほしい
- ・未来の双葉出身の子どもたちが十分な教育を受けられるサポート体制を

⑤医療・福祉について

- ・今後健康上の問題が多発する可能性が高く、フォローが必要
- ・長期的な健康管理の面で支援を考えてほしい

- ・甲状腺検査を全年齢無料にしてほしい
- ・双葉町から自殺者がでないような対策を
- ・設備の整った病院がほしい
- ・国は原発避難者特例法を策定して運用を各自治体に任せているが、十分な運用がなされていない、自治体間の温度差がある

⑥避難生活について

- ・避難生活は限界を感じている(住居の不便さ、ほっとできない精神的なストレス)
- ・この先どうしたらいいか不安だらけ、いつまでこんな生活が続くのか
- ・自立するには十分な賠償が必要
- ・借上げ住宅の移転制限を、県内外を問わずなくしてほしい
- ・仮設・借上げ住宅の入居期限が心配、制度を延長してほしい
- ・高速道路の無料化を続けてほしい
- ・医療費等の無料化を継続してほしい、医療費の免除がなくなると通院回数を減らさないといけなくなる

⑦双葉町の復旧・復興について

- ・一時帰宅の際に使うトイレを作ってほしい
- ・お墓参りだけは何とかできるようにしてほしい
- ・一時帰宅のために道路を直してほしい、町へ戻れなくてもお墓参りのために崩壊した道路網を整備してほしい
- ・常磐高速道路の早期開通
- ・家に残してきたプロパンガスや各種燃料が危険な状態にあり心配
- ・帰れないのに、元の家管理はだれの責任になるのか
- ・人口減少が予想される中それを逆手に取り、樹木と水路を配した緑と水の豊かな公園都市にしたい
- ・自然公園にする

⑧放射線の影響について

- ・放射能の影響が心配で帰還する気にならない
- ・水源が汚染されている、双葉町には戻れないだろう
- ・原発の処理が安全に進むかどうか信用できない
- ・現在の福島第一原発4号機の安全性に疑問がある
- ・廃炉作業が終わらないうちは帰れない

⑨除染、中間貯蔵施設について

- ・今の除染方法は疑問
- ・除染費用は多大、それにお金をかけるくらいなら他に使うべき
- ・中間貯蔵施設は必要、設置できなければ除染が進まない

⑩情報共有とコミュニティの維持について

- ・住民の電話帳を作ってほしい。
- ・だるま市や祭り等を開催して、双葉町の人が集まる機会を設けるべき
- ・役場からの情報がないと感じるので、スピード感を持って情報を提供してほしい。

- ・避難先では双葉町民だけではなく地元の方も輪に入れたコミュニティを作りたい

⑪語り継ぎたい双葉町の暮らしについて

- ・海・山・川・自然に恵まれている
- ・気候が温暖で過ごしやすい
- ・人情があり近所付き合いがあった

⑫残したい双葉町の歴史・文化について

- ・ふたばダルマ、ダルマ市の開催
- ・夏の盆踊り、秋は町民体育祭
- ・指定文化財以外の歴史的な文化財、資料も多く、こうしたものも残してほしい
- ・今までの双葉町に戻るのに 100 年はかかるため、こういう町があったことを残す施設があるべき
- ・伝統芸能等を継承して残してほしい
- ・この原発事故を絶対に忘れてほしくない
- ・「忘れられる」ということが一番悲しい

⑬その他復興会議の運営等に関する意見

- ・町に意見を出しても町からの反応がなく、一方通行で終わっているのではないかと不安を感じる
- ・町の復興は国の責任でしっかりとやっていただきたい
- ・東電・国にはもっと被災者の立場に立った対応をしてほしい
- ・双葉町は他の町村に比べて全てが遅れている
- ・若い人の意見を十分に取り入れた町にしてほしい
- ・町にとどまらず、もっと広域的に双葉郡全体で考える視点も持ち合わせるべき

3 2 その他

双葉町民の 1 人として意見というよりは私達の今の現状です。地震、津波、原発事故に遭った私達は（津波はまぬがれたけど）こんな事になるとは長ーい夢だったらいいなとつくづく思います。

マイホームを求めて 40 年近く、安住の地に、と一生懸命頑張っていたのに、もろくもくずれ去り避難所 7 ヲ所巡りこんな浮き草のような生活はもういやです。もちろん双葉町にはくやしいけれど戻るつもりありません。ということでいわき市に中古の平屋一軒家を見つけました。

まわりの風景、広々とした間取り日当たり良好、庭つき、少し辺りですが、街中の生活とはかけ離れてはいるけれど近くに適当に店も病院もあるので、ここで生活して行こうと 2 人同じ気持ちだったので決めました。さらに子供達との連携も便利になる事が何よりも良かったと思います。原発の補償問題も文章を読んでもなかなか理解に苦しむ内容ばかりですが、しっかり読んでわからない所は東京電力に聞くと親切に教えてくれます。これからも補償問題は頑張っ自分でも戦っていこうと思います。他人をあてにしていたのでは何も進まないし、自分の事なのだからどんな事からでも良いから前向きに考えて、出来る事なら皆さんにも頑

張ってもらいたいです。そして復興町づくりについては誰もが望む事でしょうが、いざ入居するとなったら問題なく安心して住めるようになる事を祈ります。

3 3 除染の早期実施を求める意見

私は高齢者なので何時まで生きられるものか1日も早く放射能を除染し避難区域解除願いたく早く元の双葉町に戻りたい。昭和41年より第1原発作業班長として建屋工事に従事し、昭和47年より放射線管理区域作業班長として補作工事に・・・除染水漏もれ使用・・・誰よりも知りつくしています。放射線管理手帳も所持しております。

念の為、私の住んでいる所地図で教えます。度々の地震で建物も風雨にさらされ次第に壊れています。修理が必要です。身体一つで土地・建物が多い私は修理が大変です。生きている内帰れるようお願いいたします。生れ故郷で死にたいと住民は思っている。祖先代から生まれ育った故郷で最近くに泊まり除染して、皆で1日早く帰宅が出来る事を考えてください。

【参考資料：「双葉町内空間線量率測定結果」あり】

3 4 復興まちづくり計画の評価に関する意見

1. この「第一案」のできるまでの生活再建部会委員の皆様、ご苦勞様でした。ありがとうございました。
2. 「7000人意見」1,500人参加-6,805件の多様な意見をこれだけの冊子に集約された事は如何に大変だったかと思えます。
3. 調査結果を色別、円グラフ、棒グラフで表わして下さった事は見やすく理解し易く効果的だったと思えます。
4. 老婆心ですが、同じ様な内容(項目)をもう少しまとめては如何でしょう。
 - ・大人も子供も「双葉に帰りたい」「双葉へもう一度」の望郷の念は同じです。いつ迄こんな生活が続くのか、帰郷は生きているうちに実現するのでしょうか、この願いで一杯です。
 - ・賠償問題も進んでおりますが、書類提出によって古里の全てを失う事になります。躊躇せざるを得ません。
 - ・生活最低限度のインフラ復旧でもいい。一日も早い事を望みます。
 - ・町内の皆様お元気で再会を信じます。

3 5 復興まちづくり計画の評価に関する意見

双葉町復興の思いを少々申したいと思えます。

眞に双葉町の第一次計画案を考えます。此れ以上の案が無いと思えます。①復興の思い、②住みたい場所、③仕事産業について、④教育について、⑤医療福祉について、⑥避難生活について、⑦双葉町復興について、⑧放射線の影響について、⑨除染・中間貯蔵施設について、⑩情報共有とコミュニティの維持について、⑪双葉町の暮しについて、⑫残したい双葉

町の歴史文化について、⑬その他復興会議の運営等に関する意見、眞に立派なものがあります。

双葉町帰町に関する事、6年間困難区域になりますが、その前に第一次計画案を実行してください。種々問題があると思います。眞に良い案ですので、早く実施することを願うものです。

36 中間貯蔵施設の取扱いについて議論を求める意見

賠償問題の早期解決を求める意見

原発1～4号機の廃止に向けて（中長期ロードマップ）

第1期 使用済燃料プールから燃料取出し期間（2年以内）

第2期 燃料デブリの取り出し開始（10年以内）

第3期 廃止措置終了期間（30-40年後）

以上のように長期に亘る取り組みであるが、今回5/25一時帰宅して家屋の屋根（グシ）が壊れ、ビニールの覆いが落下しているのが見受けられたので、屋根瓦修繕をしてほしい。

中間貯蔵施設について

放射線廃棄物はどこでも引き受けない。

国が一方向的に計画を提示してきたものである。

核燃料の貯蔵はどこにするか、最終処分場として作られるのは反対である。

8,000ベクレル基準以下は埋め立て可能で条件付きで設置する必要がある。

宅地建物の財物賠償について

都市部の避難先で住宅を購入する場合、現在の東電からの賠償額では建てることは困難だ。住む家を建てる賠償をしてもらいたい。

37 帰還の見通しを求める意見

双葉町元のいい町にしてほしいんです。景色もキレイです。元の町にしてほしいですね！住める町にしてほしいです。だけど今はまだ住めないで、一刻も早くですっ！！インフラの復旧です。

帰還いつになるのかなと思っています。

絶対にあきらめないのです！

戻れるならすぐにでも帰りたいです。

仕事ですね！図書館のこと

医療復旧ですね 復興ですね

38 復興まちづくり計画の評価に関する意見

双葉町復興まちづくり計画（第一次）案を読みました。

7000人の復興会議との美名と7,000万円の予算を消化した計画と思いますが、他の町村の復興計画より町民の手づくり感が少ないように思う。

（集約にエコエナジーラボ、電通等の入札業者の姿が見うけられる）

委員の人選については役職や肩書等を重要視しないで公募の枠が必要だったのではないかな。

計画案のとりまとめた努力は認めますが、現状の双葉町は不確定要素が多く、見直し見直しの連続となる事が予想される。

広域的な意見が重要になってくるのでは。

今なにが要望されているのか、何が大事であり重要なのか、真剣に討議する底辺の声を吸収する委員会であってほしい。

39 復興公営住宅の整備を求める意見

山田石熊は線量が高い。帰還する事が出来ない状態にある。帰還困難区域の除染には問題があります。復興には時間がかかるようです。いわき市を中心に3年以内に復興住宅に入居出来るように、双葉町のインフラなど力を入れてほしいです。各個人の賠償が進めば、復興は早くなる事でしょう。

一日も早い復興を願っています。

40 双葉町外拠点（仮の町）・復興公営住宅の整備を求める意見

第一に、福島県内の住地

第二に、双葉町の住むだけの土地（一ヶ所位にしていきたい）

第三に、住人の募集

第四に、家を作っていただく（一家族用に）3LD~4位

もう2年が過ぎていきます。国、県、その他一日も早い計画をお願いしたいです。

町長に託します

頑張っていたいただきたいと思います。

41 復興まちづくり計画の評価に関する意見

「双葉町復興まちづくり計画案」の作成、集約につきまして、各委員さんにおかれましては、大変なご尽力をされ、ありがとうございます。

「感謝！」

この度、策定された計画案に実施事項、取組項目等が記載されていますが、取組項目ごと

に具体的実施項目を決め、その目標値（達成率、期間等）を決め、更にそのアクションプランを書面にて作成し、開示していただきたいと思います。

「いつまで、何を、どうする」が見えるようお願いいたします。

4 2 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

とにかく町の生活基盤（病院・商店・役場・学校・金融機関・ガソリンスタンド・修理工場等）が成り立たなければ町に戻る人は少ないと思う。

生活基盤が成り立って仕事先があれば、他から少しずつでも人が集まって来ると思う。

それには、まず放射線量が低くならなければならないと思います。

今まで店をやってきた人が帰れるようになった時には年老いて開業出来なくなっている人も、又再開業をする気が無くなっている人も少なくないと思う。

4 3 その他

当方は来年 70 歳になる老夫婦です。どう短く見積もっても帰還は 10 年～20 年先と見ます。先代の町長が述べたように 30 年先かもしれません。

私たちに命がそこまで保証されている訳ではありません。

復興まちづくりといわれても、「案」に熱が入らないのが現実です。

他の町の「除染状況」の報道を見聞きしていると、その効果も万全ではありません。

そもそも、「放射線除染」自体が世界で日本が初めて行う事業です。

「研究開発」しながら行う事業が帰還の基礎になっているので、それを希望の根拠にするのは現実的でないと考えます。

したがって「復興」に関する「個人的」な見解は持ち合わせていません。

客観的ですが、「復興」そのものより、町そのものを処分して、国に責任を問うほうが明確と考えます。

4 4 その他

借上げ住宅で 90 才過ぎの母（認知度 4）を介護しています。

“早く家に帰っぺな”と話す時、“うん”と深くうなずきます。

先がない母、そして介護している自分も 60 才中途、一日も早い復興を望みます。

収集された双葉町民の方々の意見①～⑭すべての意見に同意です。

4 5 その他

1 日も早くおちついた所に住みたいです。

4 6 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

町民の 70%近くがいわき市を希望しております。町としては 2 年以内に関わきに移住すべきだと思います。これが、3 年～5 年となると町民がさらに減り、バラバラとなり、双葉町として成り立たなくなると私は思います。私は以前原発で働いていました。線量などの事は皆さんより詳しくわかっています。

何回か帰宅し、その時その時線量を測ってメモしています。おそらく私が死んでも双葉町には皆さん帰れないでしょう。これが現実です。重く受け止めて 1 日早くいわきで暮らして行けるように双葉町で努力すべきです。

私は 69 才です。もう先があまりありません。せめて好きな釣りをしていわきで人生を終わりたいと思っています。ささやかな願いを叶えてください。

4 7 除染の早期実施を求める意見

1. 国と東電に早く線量を無くし、双葉町へ戻れることをお願いします。
2. 双葉町それからです。

4 8 賠償問題の早期解決を求める意見

規制緩和を国へ要求願います。

その内容として：

原発難民は定住する場所も定まらず、先の見通しも見えない現状です。安心して住める場所をみなさんが求めているのは確かです。しかし、今の東電側の賠償額ではとても無理です。そこで安価な農地を農業者でなくても購入できるよう国へ（農林省）8 ヶ町村がそろって要望（要求）する。そうすれば光が見えてくる。

精神的苦痛の賠償請求申立てについて

浪江町では町民一人当たり月額 35 万円を ADR に申し立てています。双葉町の現状では手続が面倒で賛同する住民が少なく、力不足に感じます。そこで浪江町と同じような方法で住民と委任状を交わし ADR に申し立てる事をしてください。

49 復興まちづくり計画の評価に関する意見

双葉町復興まちづくり計画（第一次）案への異見

双葉町復興まちづくり計画（第一次）案について、今後の帰還に向けての案としては、細部についてよくできており、大学卒論なら合格点であるが、しかし「平成 29 年頃に、科学的知見に基づき、判断する。」とあるが、問題は帰還を前提にしておくことです。

1、先ず政府は情報を隠して賠償金がかさむため、多分何年か後解除するであろう。

参考までネットで情報を検索すると、特に海外からの情報で政府の情報を隠しておることが分かる。これらの情報から先ず問題点をあげる。

① 内部被曝検査ではストロンチウムやプルトニウムの被曝は検査ができない。双葉町ではその存在の有無等実態をつかめない。配付・検査されているのはセシウム 134・137 である。多分政府東電は分かっていると思う。

② 例えばドイツで事故のためでなく原発廃止にするため約 40 年と見ていたがそれは無理であり、日本の原発事故のため廃炉にする為の今の世界の技術では無理で何万年かかるか分からないと述べている。

「怖いのは 4 号機です」と指摘して、こう解説する「4 号機の冷却用プールには、今も 1,331 体の使用済み核燃料と新燃料 203 体が入ったままです。東電は来年 11 月から巨大クレーンを使い、すべての燃料を取り出す方針ですが、1 年ほど毎日のようにクレーンがフル稼働するので、吊り上げている最中に大地震に見舞われる可能性は少なくない。燃料を落としてしまったらどうするのか。マスコミが東電にそのことを聞くとそういうことも考慮しているというが、本当に大丈夫なのか」プールは建屋内の 3～5 階部分にあり、建屋が爆発した際に影響を受けたため、耐震補強を施された後も余震による倒壊を懸念する声がある。

しかも使用済み燃料棒は致死レベルの強烈な放射線を発し、水中で冷やしながら保管する必要がある。水が不足すると高温になって発火し、消す手立てもない。

③ 原発の専門家の誰もが、事故の直後にメルトダウンを予測したのにもかかわらず、原発の内部の人間の口から直接、「福島原発はまだ危険です」これほどハッキリとしたコメントを、どの日本のテレビメディアも報道していないのです。おまけに元野田総理の原発収束宣言すら出し、世界から笑いものになっておる。

2、現状に即した復興まちづくり計画案を検討すべきである。

① 現状として今後益々双葉町民の避難地域への定着化が進み、その対策が必要となるだろう。双葉町への復興計画で帰還を前提のみにこだわる必要はないだろう。歴史上ゲルマン民族の大移動、アメリカ合衆国の建国、日本では会津藩等新天地開拓等での例がある。双葉町民の移動【仮の町ではない】等選択肢もある。

② アンケート調査と本音は異なる部分がある。

私が出た双葉町の大部分の方はもう双葉町に戻りたくても戻れないと思っている。

放射能と一時帰宅毎に見るネズミ・雨漏り・生い茂る草木で荒れ果てた我が家を見て我

が家にとっても住めないと思っている。

放射能についても例えば一時帰宅で玄関前は $2\mu\text{Sv/h}$ 前後なのに宅地内の背丈より高い雑草で覆われた家庭菜園上は $5\mu\text{Sv/h}$ 前後になる。町内ではいたるところにホットスポットがあると思わざるを得ない。

ネズミ・雨漏り・生い茂る草木で荒れ果てた我が家を見て復興委員の方も多分そう思っている、復興計画作成なので本音は出せない。

③ 現在の原発の現状からみて判断するしかないが政府は情報を隠し、早く解除して戻りたいと思う。

しかし放射能の半減期からみて、今後何百年も住めないという学者もおり多分誰も本当のことがわからないが。

町民特に若者を戻し、モルモットにはいけない。

もう家を新築なされた方もかなりおる。また双葉町へ戻る為、家の修繕を始めた方もおる。各自の選択にまかせるしかないと思う。

まとめとして

絆は大切であるが、その避難地区の住民に溶け込み、そこで生きる覚悟も大切である。何処までも双葉町民だけの視野からでなく避難先の住民になる。この辺が双葉町復興まちづくり計画の落とし穴であろう。

その為の各個人に応じた支援計画が復興計画に具体的におり込む事が大切であろう。

50 その他

私は 1956 年生まれ、今年で 57 才になる。母は 78 才である。

山田地区は今の除染技術では 10 年、20 年は住めない。セシウム 137 の半減期を待っていたらば、墓の中である。

町の長（おさ）地域町民の代表（議員）も私と同年代、又はそれ以上の方が多い。この方々は長生きをする自信があるのか。あまりに遅い。

町民の意見を聞くのは良いが、町民のことを考え、自分の利益などを考えず、これからの双葉をベストと思える案を町民に示し、実行する。又、実行できるようにするのが、町の長、地域町民の代表の仕事と思う。

51 賠償問題の早期解決を求める意見

東京電力に対し、今後ますます体調の崩れる方が増えるかと思っております。H23. 11～の補償はされないとの事で（医療）、私はH24. 5～ガンがあると、今現在大阪まで通っています。補償もなく、自費で全ての交通費を支払っておりますが、病院も5ヶ所転々とし、ドクターストップもあって、せっかく入社した会社も1年半で退職いたしました。母子家庭なので、不安で仕方ありません。家の賠償も離婚したのが震災のあった年の1月、子どもの養育費代わりにと司法書士に書類をローン払いは夫がし、全て支払した後、息子の名義にと書

いて頂きました。ですが、もちろん名義が夫の方ですので賠償も夫が請求。この先不安でたまりません。いろいろな事情もあるので、家の賠償については意見願います。

5 2 双葉町外拠点（仮の町）・復興公営住宅の整備を求める意見

- ・現実的に5年後、10年後に双葉町に戻り、人間らしい生活をするのは不可能である。
- ・今後、長い年月双葉町で子を産み、育てる事ができないのは明らかである。
- ・いわき市に仮の町を作るにしても、一ヶ所にしなくてはならないことはない。
- ・復興公営住宅は必ず必要であり、いわき市に多く作る必要がある。
- ・いわき市の土地は短期間のうちに価格が上がり続け賠償金では土地を買うこともできない。
- ・今でも失業者は出続けている。若いうちは再就職も出来やすいが30代後半以上ともなれば正規雇用はほとんど望めない。
- ・いわき市では賃貸住宅を探すのもままならないが、ペットがいる人も多くペット可の物件はなく八方塞がりである。
- ・町ごとに復興公営住宅を分ける必要はなく、被災町同士協力し合いながら復興公営住宅の建設を行ってほしいと思います。

5 3 中間貯蔵施設の取扱いについて議論を求める意見

中間貯蔵施設ができたなら、誰も帰還はしない。そしたら、復興まちづくりなどというのは単なる夢物語。他町村では田植えがスタートし、除染もやっている。平成29年まで話し合いばかりを繰り返して、何も実行できなければ無駄です。一体、復興会議でビジョンを作ったところで具体的な実行性はあるのか疑問。とにかく早急に手を打たないと誰も戻らなくなりますよ。

5 4 復興公営住宅の整備を求める意見

家はしっかりしており、帰ることが出来ないのが辛いです。恐くて廃炉になるまで戻れないと思っています。私達には時間がありませんので、一年でも早く孫が泊りに来られる場所に家を持ちたいと考えています。

除染にお金をかけるより、住宅確保に使っていただきたいと思います。復興公営住宅がいいのか、他の賃貸物件がいいのか、じっくり考え決めてゆきたいと思います。

5 5 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

仮の町の整備を求める意見

帰還の見通しを求める意見

原発で避難生活の中、将来の双葉を考えて見れば、町民がどの家庭も家族がバラバラになって避難生活を続けている双葉町は学校（小学校、中学校合わせて高等学校）がない。双葉町の将来は、子供達がいらないということは先々がない。

第一番にこの学校の施設だ。一日も早くこの学校の再開をする事。

第二に、六年後に町民を戻すには、工場の誘致だ。浪江、富岡でも良い。働く場所がほしい。生活の基を確保しなければならない。

第三は、仮の町。除染は掛け声だけで進んでいない。

第四は、除染すれば住めるのか。不安だ。恐らく町民のほとんどは戻って住める状態にならないと思っている。

農業商業も、人間が居なければ成り立たない。

第一第二原発の廃炉も大事だ。「絶対安全安心」は町民には通用しない。中間貯蔵施設が出来たら、双葉町は住んで暮らす事は出来ないだろう。

私の思う事

①小・中・高校の建設と開校。子供学生若い人達の居ない町は先々の人口減少で消えていく。

②原発で避難して、6年後戻っても、生活するための働く所の会社、工場を確保しなければ誰も戻らないだろう。働く場所の誘致と建設だ。浪江や富岡でも良い。安心して働けるようにしなければと思う。

③仮の町の建設を一日も早く進めなければダメだ。町民も他の地に根付いてしまう。

④除染をして、戻れるか戻れないか、早期に除染を進める事。

⑤原発（第一第二）の廃炉の決定。もはや、双葉町民に絶対安全安心は通用しない。古里を追い出され、この苦難の避難生活は、避難した者しか分からない。いつ戻れるか、生きて戻れるか、死んで戻れるか。友人知人兄弟も避難生活の中で亡くなった。

双葉町を離れて、避難生活も早や二年と二ヶ月余りが過ぎました。こうして双葉町を離れてみると、住んでよし、暮らして良しの我が町双葉を感じます。

国道6号線、国道288号線、常磐線、東に郡山の海、西に十万山あり、前田川あり…と、古里双葉を思い出します。他の地にはない良さ考えさせられます。

「一日も早く戻りたい」と思います。

56 中間貯蔵施設の取扱いについて議論を求める意見

復興まちづくり計画の評価に関する意見

双葉町のために尽力いただきありがとうございます。

内容についてですが、申し訳ありませんが、はっきり言って全く分かりません。お年寄りの方々には、なおさらではないでしょうか。

また、この案内ですが、カラー刷りの大きな質の良い紙を使用されていますが、お金の掛けすぎではありませんか？他にお金を使うべきところがないのであれば、避難を続けている納税者に返すべきです。

私は帰還を望みません。檜葉町等におかれる中間貯蔵施設を全て双葉町で引き受け、福島

県内をはじめ、全国の市町村から「双葉町の人に感謝している。是非わが町村へ、仮の町でも、町移転でもしてください。」の声を引きだした方が得！！

57 除染の早期実施を求める意見

双葉町内の除染を早く進めてほしいと思います。現在のこのような状況の中で、除染が希望の光です。少しでも戻れるような環境作りをお願いします。もし、町内の除染作業を開始ということになれば、その時はすぐに駆け付けたいと思います。

町内に復興住宅を建設ということになれば、戻ってくる人たちも多いのではと思います。もちろん自分も喜んで双葉町へ戻ってきます！！よろしくお願いします。

58 復興まちづくり計画の評価に関する意見

まちづくり計画書を読ませていただきました。ありがとうございました。
皆様方と同じことを考えております。

59 復興まちづくり計画の評価に関する意見

双葉町復興まちづくり計画（第一次）案（概要）が届き、とても分かりやすく共感を覚えました。自分でもどうしたら良いのか分からず、かと言って、将来どうしたら良いのかと言われても、言葉に言い表すこともできませんでした。

今回の計画案は、絵や写真など、図解も分かりやすく、内容もほぼ賛同できるもので、安心しました。是非とも、この線で進めていただきたく、希望します。

本当に困難な仕事だと思いますが、焦らず、そして怠らず、辛抱強く、頑張ってくださいよう、お願いいたします。

60 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

1、第一原発の廃炉→放射性物質の完全無害化

2、中間貯蔵施設を導入した場合

最終処分場へ搬出し、原状回復した状態が作られた時

→上記のような環境が整備されて、はじめて人間が住める「地」となる

原発事故前の状態（自然環境）なくして復興はない

61 帰還の見通しを求める意見

双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

- ・帰還困難区域に設定され、今後 4 年間帰れないが、今までの除染の進み具合などから、みると、その後も双葉町へは帰れない気がする。
- ・仮の町として、いわき市が一番だが、今現在で人口が多くなりすぎてしまって住みにくいという意見を聞いた事がある。検討した方がいいと思います。

6 2 帰れないという判断を求める意見

- ・私は加須に住まい（中古です）を買った一人です。現在、子供達は 3 カ所に分かれています。
- ・アンケートを見ると、「仮の町に住むつもりがない」が 42.8 パーセントもあり、これでは仮の町を造っても、「入居する人がいなくては無駄」というものではないか。
- ・線量の高い双葉町に何十年後果たして戻れるのか？それなら、少しでも早いうちに、生活設計を立て、前向きに行くべき。
- ・自治体を頼りすぎない
- ・家を買ったのは、子供たちがいつでも帰ってきて、泊まれるようにしてやりたくて（実家として）

6 3 その他

- ・母が低血圧のため窓をオープン。冷房がしにくい。
- ・家は浜風が側面を通る。南にいぐねがあり放射能は半分に出る。 $1.05 + \alpha$ より $0.55 + \alpha$ に出る。
- ・郡山富田は風がうるさい。
- ・水を補給してもらえればなんとか住めるようになる。又は井戸を東電に作ってもらい測定（放射能）出来るようにする。
- ・最低の電気はガソリン発電機（5 万円ぐらい？）を買う。
- ・家は水洗便所ではない。
- ・浪江に商店が出来るのを待つ。
- ・ごろしお風部屋があればよい。
- ・厚生年金が今少力で、多く出れば米野菜の心配なし。
- ・学生には虎の巻の作成をする。本教師大学出。←小高高校 40 点、日比谷高校 95 点→同一高早い待遇。
- ・半付属ののらねこ心配です。（にぼし持っていくと無くなっている）

6 4 賠償問題の早期解決を求める意見

双葉町の復興に異を唱える町民はいないと思います。しかしながら、それは現状原発事故処理の行程も不透明であり、極めて長期化することは疑いもない事実です。日に日に歳を重ね、避難生活に疲れた今、少なくとも考えなければならない事は、真っ先に当面の生活です。

いずれ双葉に帰るにしても、生きぬいていなければ帰れません。

今最優先して行っていただきたい事は、町民の経済的復興だと考えます。

- 1、国・東電の避難生活に対する支援の強化
- 2、動産・不動産の賠償に加え、国・県・町等での買取り等資金化対策
- 3、賠償請求等に関する情報提供の強化

(時効対象者の方々の賠償請求状況・賠償結果等の公表、その他賠償請求に係る支援の強化等)

今を生きぬく支援策が充実され、強いられた中ではあれ、避難生活が安定すれば、時期が来れば双葉に帰る。皆様そう思っているのではないのでしょうか。

6 5 その他

1、双葉町復興の最も基本となるものであるが他町村に比べ遅れが気にかかる。(理由は?)

①委員の出席率が悪い。(都合があるのだろうかから人選の場合出席の可否をあらかじめ確認して)

2、7000人の復興会議について

①最大の関心と重要視したのは「広域を対象とした会議」

全町民が参加でき意見を述べられるので、出席者が極めて少なかった。(私も欠席したが)

・232名出席(成人町民の約4%)

・理由は?

3、住民意向調査

①大変よい。(回収率59%)

※震災直後から住民からたくさんの申し入れがあったはず(これも他町村より遅い)

4、今後について

①町執行部や議会を含めての町民との懇談会を数多く。

②アンケートは一度に何でもでなく、重点的にしぼって回数を多く、だれでも記入できるよう簡単に。

③すでに移住した人やこれからの人達へのケアを大切に

・移住地との関係 ・福祉関係 ・賠償関係 等

6 6 帰還の見通しを求める意見

双葉町外拠点(仮の町)・復興公営住宅の整備を求める意見

帰りたいけど帰れない、いつ帰れるのかをはっきりしてもらいたい。

一日も早く仮の町をつくってほしい、できれば双葉町の人と一緒に集まって住みたい。

交通の便のよいところに住みたい。

買い物が出来、医療機関が近くにある所がほしい。

仮設ではなく、核となる復興公営住宅があり、その周辺に一軒家があるものを早くつくってほしい。

どこの町で生活を始めても双葉町民として支援をお願いしたい。
今後、健康上問題が多発する可能性が高く、フォローが必要。
長期的な健康管理の面で支援を考えてほしい。
老人が孤立しない環境をつくってほしい。
設備の整った病院がほしい。
せんだんのような老人ホーム、デイサービス、ショートステイ等がほしい。
避難生活は限界を感じている。住居にほっとできない。
精神的なストレス。大切な友人と距離が遠くてさみしい。
帰れないのに元の家管理はだれの責任になるのか。
町の写真や映像等で記録をしっかりと残してほしい。
若い人の意見を十分に取り入れた町にしてほしい。

67 その他

マイノートを頂きましたが、その頃主人との別れの忙しさに苦しんでおりました。心痛が続き、提出も忘れていまして、申し訳ございません。

他界してから9ヵ月となり、現在二本松市のアパートで一人暮らしです。

すべてを失ってしまった私です。日増しに老いを感じる身となり、一日も早く避難民としてではない以前の私になれば気分も晴れると思いますが、これきりかと考えると明日への道は見えてきません。

どうにもならないのに行政へ無理なお願いは出来るだけ絶えて暮らしたいと思っております。あまりにも長過ぎる苦悩ですが、今となっては過去よりも残されたこれからの不安です。

虫ケラよりも宿探しにへただと思います。今となっては迷惑のかからぬように静かな余生がありますようにと願うばかりです。

避難生活については最早限界となり、苦しみを忘れることの出来る日はこないと思いますが、精神安定のむずかしさをストレスとして片付けられるものではないです。

自宅は帰宅の度に無残となり盗難に心痛です。

双葉町の復興計画の資料を頂き、重ねて、あの日までの美しい風土だったあの町に居住して36年、本当に住み良い所でしたので、今でも苦しい。あきらめがつかずに体調の悪化で病院通が続いています。

役場さまのお蔭で一人でも安心して居られます。

いつも本当に有難うございます。

今日は思い切り心の中を書かせていただきました。

今後どうぞ宜しくお願いいたします。

68 除染の早期実施を求める意見

中間貯蔵施設の取扱いについて議論を求める意見

メルトダウンした核燃料棒を取りのぞかなければ、少しずつ放射能が出ておりますので帰還困難だと思います。早くメルトダウンした物を取りださないと双葉町の復興にならないと思う。

- ・何回も除染作業しても、もとどおりにならないので早くすることです。
- ・双葉町に中間貯蔵施設を作る時は、区長会の懇談会をしてください。中間貯蔵施設でなく最終処分場になると思いますので、田、畑、宅地など国・県と話し合いをして決めてからやってもらいたいです。
- ・メルトダウンを取り終わるまで30～40年はかかりますので、私達の時代に間に合わないの、早くお金で決めてほしいです。
- ・帰還困難区域になりまして、借上げ住宅で生活しておりますが、住宅の無料になるようにお願いいたします。
- ・高速道路の無料もお願いいたします。
- ・町長さんをお願い、復興工事・除染作業が遅れている原因は、発注者から元請け、1次請け、2次下請けで合計4ヵ所通さなければ作業ができない方式になっておりますので、仕事をして1日当たり1万1千円の手取りで安いので、人手不足になり復興が遅れる原因になっているとテレビや新聞などで報道されております。根本復興大臣にお願いします。

今年度の国の復興予算が1兆2,600億円もあまり、それが復興の遅れとなっている原因だとテレビでは報道されております。法律では予算を出してから2年で切れることになっているとテレビで報道されておりましたので、心配でなりません。

69 その他

○双葉町復興への展望 難局打開の道は

一時立ち入りの度に荒廃を増す我が家周辺、心は忿懣鬱屈の度合いを深める。更にそれに拍車をかけているのは、国のエネルギー政策、避難者そっちのけ、考慮に入れない方向に進み、原発を回復させる方向に風向きが変わっている。

今なお苦難の中に居る避難者の心を愚弄すること甚だしい。自分の置かれた苦しい境遇を打開する道が全く無く切ない思いです。心に明るい光をもたらす前進の気を持ちたいものだ。

放射線量の低い地域・再編されても今後も新たな形で立ち入り制限が続く、住民の帰還意欲は減衰するばかり。放射線量の低い地域の立ち入りを可能にして、住民の帰還を促す狙いだが。ところこが区域の線引きによって東電の賠償が異なる。国も東電も「早く賠償を打ち切りたい」魂胆の意図があるのでは。

未だに先が見えないままの避難生活

机上論ばかりかざした実態に即さない対応が続き、歯がゆい感じがするという声も耳にする。生活再建が進んでいるというような状況ではない。

○双葉町では、まだ「除染計画」の策定はされているのですか、いないのですが。

最近大きく報道された、手抜き除染横行、復興予算横流し、抜け道だらけなど、除染については非常に不満を持つ。放射能は私たちが「ください」と要求したものではない。浴びせられたのだ。

進まない復旧 原発事故は今も継続中

原発周辺では帰還出来ない人が 15 万人という。安全神話を作った政・官・業は再稼働にはやるばかり。茨城東海村の加速実験施設での放射能漏れ事故、「過酷な事故は起きない」という前提で原子力を扱った、東電福島第一原発事故と同じ体質を露呈させた」との批判的な声が相次ぐ。

「避難者の嘆き、なし崩しの再稼働」に流されていいのだろうか。

○ 十把一絡げで人の命を奪うのが戦争、その戦争に巻き込まれた困難遭遇。それに今回の原発事故

理不尽・不条理に我が家を追い出され、生活を奪われ、強制避難惨劇に遭遇。

「栄耀栄華も果ては奈落の底となる」

「祖先崇拜の心なきは必ず滅亡へと歩む」 箴言と心得ている。

避難生活も限界との声・ 長年住み慣れた土地故郷で過したいという意志。

「放射能が高くたって、我が家に戻って畳の上で老いたい」これが本音本心。

● 復興・復旧までの道筋 完結までの点かいの仕方

帰還開始までのロードマップの作成

国や東電にきちんと責任を果たせることを欠かさずに。

▼仮に事故発生から 6 年目 平成 29 年 3 月迄の復旧の取り組み、イメージを示して。

「放射能除染管理」 「生活基盤の整備」 ●「帰還開始」

ロードマップが後にうれないように切望。

●復興への“はかどり” 進捗状態を的確に住民に公表していただきたい。

事故収束・復旧にも手をつけられずの現実

復興本番はこれから。政治家の皆さんも被災者・被災地の視点に立ってやっていただきたい。福島の凄惨苛酷な原発事故を風化させないように。

「帰還復旧の原点「除染・生活基盤整備が」カギ スピードが命」

現住所の入居期限が H26・5・23 迄となっております。 避難先自治体との連携は・・・

纏りのない記載、ご容赦ください。

旧騎西高校内避難者（両竹）の皆さんによりしくお伝えください。

7 0 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

放射線量に関係なく、戻って自宅等で生活したい人のために、除染より先に水道、電気等のインフラを再開してほしい。

その後、町が元通りになることはないので、双葉郡全体で、新しい町を～30年の期間の中で考える必要がある。1万人以上の町ができるかどうかを考える。

原発内の核燃料の処理が終わらない間は、あくまでも仮の町でしかないと思う。

7 1 復興公営住宅の整備を求める意見

役場の機能のないところに支所を作ってほしい。

復興公営住宅を希望します。

親子（息子と2人）で現在私は78歳です。息子は50歳ですが、精神的病気であるため、何とかこれから先親が元気なうちに、復興住宅でもお願いして住まわせてもらいたいと思っています。

7 2 帰還の見通しを求める意見

双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

高齢者からの意見。町の復興は現実的に20年あるいは30年後となる。それから町として成り立つ（インフラの整備、町の営みを考えて）には更に何十年かかかる。とすれば時間がない。終の住み家を求めるには現実を見て、賠償金と町や国の補助に頼る以外にない。避難生活の補助と十分な賠償金で家を買うもよし、借りるもよし、避難者の意志にまかせるのがいいのでは？もちろん地域ごとのコミュニティは維持しながら。

町の将来については残念ながら悲観的です。現在の社会政治を考えると、原発の再稼働、しかも廃棄物の処理も決定できず、廃棄処理も進まず、中間貯蔵場所も決定できずとなれば…双葉町が中間貯蔵地を引き受けざるを得ない（他県で引き受けることは考えられない）となれば町の将来、住めるようになるには何十年？

町の復興にはまず現在の双葉町が住める状態になるには何年先と見当するか、それにむけて避難先、いわき・郡山・南相馬を中心に、コミュニティを維持しながら各々に生活の選択をさせる。各拠点で町の文化伝統を受けつぐべく若者に伝えていく。次世代の若者に伝統を伝え続け、将来町の復興を計る。そのまとめ方向性の位置づけをするのが町長の仕事だと思う。何十年後になるか、町として成り立つかは町の責務と思います。

7 3 賠償問題の早期解決を求める意見

双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

1. 不自由な避難生活の改善に向けた取組

賠償問題について双葉町弁護士との連携と記載してあるが、弁護士に交渉依頼している町民にとって賠償の遅れが今後の生活基盤の構築に多大な影響を及ぼしている。

将来進むべき道の岐路に立たされている町民の不安を解消するためにも、現在の交渉の経過、問題点等の情報を適宜流すことを重点課題として位置付けしてほしい。

1. 生活再建する場所の整備

「双葉町外拠点」の整備方針で医療体制の確保とあるが、具体的にどのような方針なのか？

少なくともいわきには簡易な診療所的な施設を県、国等と協議し設置すべきでないのか？

7 4 その他

まず生活再建です。先の見えない現状に気持ちも萎えて来ます。少しでも故郷の風を感じたくて、帰還しました。2年が過ぎて余りの変わり様にごくぜんとしています。時計の針は止まったままで、荒廃が進むばかりで涙が出ます。4年後に再編との説明がありましたが、4年後を考えた時、絶望しか見えて来ません。

人々の生活が安定していかなければ町の存続などありえません。除染にしても、どのように進めるのか分かりませんが、私は地元処理が基本だと考えます。放射能によって汚染された物など、どこも引き受けてくれるわけもなく、東京電力によって恩恵を受けてきた町民もいるわけですから、少なくとも汚染物に対する責任は負わねばならないのではと思います。

計画案にもうたわれているように、他町村との連携によって見えてくるものもあると思います。その中にある双葉町の町民としてのあり方、伝統の文化を消すことなく、きずなを維持していくことによって、思いも共有できるし、他町村とも助け合っていけると考えます。将来を担う人材の育成も重要です。人々は切磋琢磨することによって成長していくもの。きっとこの災害を乗り越えた子供達が双葉町の再生を果たしてくれると信じます。川俣町に避難していた時に子供達が率先して町民のお世話している姿にとっても励まされた事を思い出します。だからこそ私達はしっかりした議論のもとに道筋をたてていかなければならないと思います。

7 5 帰還の見通しを求める意見

①戻れるのか、戻れないのか、はっきりしてほしい。

②泥棒が入っているので、何とかしてほしい。

③6号線を自由に南の方へ通してほしい。家族・親戚に会いに行くので

④個人の電話番号、家を修理した領収書を発行するため

76 復興公営住宅の整備を求める意見

復興住宅をお願いします。

77 帰還の見通しを求める意見

不安な毎日です。震災から2年が過ぎ終の住む家を購入する方がいるとこの頃お聞きします。

双葉町は今後どうなるのでしょうか。

復興まちづくりは全町民が1ヶ所に住まない、気持ちが一つにならないと思います。これからの4年間長く感じます。

78 復興まちづくり計画の評価に関する意見

復興まちづくり計画案、良くまとめられていると思います。

一日も早く少しでも実現できるよう希望します。

79 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

- ・仮の町をつかってほしい
- ・駅の近いところにつかってほしい
- ・双葉町役場を交通の良いところにつかってほしい。

80 埼玉県に復興公営住宅の建設を求める意見

双葉町の復興公営住宅を埼玉県に作っていただきたいと思います。今の段階では、帰るのが無理ですから、是非作っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

81 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

加須市内に復興公営住宅を建てていただきたくお願い申し上げます。

82 除染の早期実施を求める意見

双葉町の将来のまちづくりに関する意見

- 1、除染の徹底、安心して住める環境を早急につくること。下水道の完備、その他。
- 1、雇用の場をつくること。勤める所が無ければ若者は参って来ないでしょう。なぜ企業者は都会にばかり行ってしまうのか。

1、双葉町は昔から農業の町と言われてきました。今から 10 年 20 年過ぎたなら若者が何人農業をやる人がいるでしょうか。今の双葉町の農地の地形では、これからの若者は農業をやる人はいないでしょう。まず基盤整備の実施。その上で農協が主体となって（農機の運転は 65 才以上でも可能）水の掛け引き、草刈り、こまかい仕事は部落に残った高齢者に頼むことも出来るでしょう。小作料等は収穫が終わってから農家と相談して決めれば良いでしょう。そうすれば農家も安心できるでしょう。企業体制では農家は心配又個でやるには多大な費用がかかるでしょう。又、今の日本の農政では農業には希望が持てないような気がします。

1、又、双葉町は農業をやめて企業の町にするか、例えば風力発電。又は、太陽光発電でも作って原子力に代わって電力の町にするか。最後に 7000 人の町民と一緒に帰ることは不可能でしょう。皆が住みよい環境を作ることが先決ではないでしょうか。残る人生を双葉の復興に懸けたいと思います。

8 3 その他

町長さんはじめ職員の皆さんにおかれましては毎日お忙しくお過ごしのこと御苦労さまでございます。支所からは度々情報の提供をいただき感謝しながら拝見しております。ありがとうございます。支所の移転についてはいわき市とのこと私は支持します。復興まちづくりの役員の方々は大変なお仕事で御苦労様です。生活環境（医療、食料、水道、電気燃料関係）を整える事は時間と年数がかかることでしょうかから町民の皆さんが安心して生活出来る様によりしくお願いいたします。

8 4 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

- 1、仮の町をつくってください。
- 2、復興まちづくりは、それから
- 3、皆さんが集まる仮の町が先だと思います

8 5 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

買い物ができる。
医療機関が近くにあるところに暮らせるところに。

8 6 埼玉県に復興公営復興住宅の建設を求める意見

双葉町の将来のまちづくりに関する意見

双葉に復興住宅が出来るまで、埼玉県内の住宅を希望しています。
まちに皆さんと住める住宅を希望します。

87 埼玉県に復興公営住宅の建設を求める意見

将来にわたる生活設計が困難で、埼玉県内に住宅希望者に復興公営住宅を建設してください。子供や、孫との生活を取り戻したい。買い物ができ医療機関が、近くにあるところに暮らせるところ。

老人が孤立しない環境をつくってもらいたい。

せんだんのような老人ホーム、ショートステイ等を作ってほしい。

家の保全をお願いし、空き巣や火災予防に努めてください。

88 埼玉県に復興公営住宅の建設を求める意見

これから先、5年になろうが、10年になろうが、福島県には帰りません。

というのは、身内、親戚が埼玉にいますので、自分も埼玉に住もうかと思っておりますので、一日も早く復興住宅が出来ることを望みます。

それまでは、騎西高校で暮らしたいと思っております。

89 その他

復興・再興に向けた計画案はよくわかりました。

とにかく、健康で元気でなければ、長期間、待つ・耐えることはできません。

保健福祉面で早急に、高齢者や昼間自宅に居る人たちが元気をとりもどせるよう、お願い致します。とりあえず、常勤やパートで働いている人は外に出ているのでなんとか元気でいられるでしょう。

町民一人一人が、まず「健康第一」な体でなければ、マイナス面しかみえてこないような気がします。

健康であれば、勇気や我慢や忍耐もでき、いい知恵も浮かんでくると思います。避難生活における高齢者の健康被害（精神面）をなんとかしてほしいです。

高齢者は、昼間のコミュニティがないので引きこもりになってきております。最近、いろいろ行事があるようですが、参加したくても、交通手段がないので行くことができません。介護施設送迎車のように家まで迎えに来てもらえたらありがたいです。

しかし、送迎車に「双葉町」などと記入されていると、近所の人たちの、目につきますので「避難車」・「避難民」とか、あまり分からない方が良く感じます。

高齢者は、やはり、双葉町・地域の人に会っておしゃべりをしたいのではないのでしょうか。積極的に、おおあざ、こあざの集まりの機会をもうけていただければありがたいです。地域・部落にまとめてくれる人がいればいいが、みな、消極的になってきているような気がしますので是非、公共機関で計画・設定をしていただければ。と思います。

いわき市では、あまりの人口増加に市民からは、避難者はよく思われていません。「いつま

でも、避難者気取りをするな。」「はやく立ち上がれ。」「新聞はいつも原発のニュースなので読むきもしなくなった。」と、耳にします。

そして「相双地区の人はお金を持っている。」ともいわれます。あまりお金のことは、ニュースにとりあげてほしくないです。

高速道路や医療費の無料はありがたいです。

生活習慣・風土、地形の違い、近隣のトラブル等 どうすればよいか？

双葉町の土地、宅地面積じゃないため、のびのび生活することが出来ない。

たとえば、洗濯物を干す状態にも違いがあるようです。犬を飼っているがほえればうるさいと注意される。先に住んでいるいわき市民は、後から来た住人が、双葉町とおなじ感覚で自由生活・のびのび生活・犬までものびのびしている・ごみ集積所も利用している。迷惑きわまりない。と思っている感じがします。仮に生活の拠点を定めたとしても、こんな状況の中では、とても住みにくさを感じてしまいます。避難先自治体との連携を至急お願いします。

やはり仮の町ができれば移りたいと思うようになりました。

学校再開は児童・生徒が、小人数では、偏った学習しかできないのでは。と思ってしまうますが、一人一人に目が届き、きめ細やかな指導ができ成績の向上が期待できる面もあるのかなと思います。一人一人を宝物とし、「双葉町の伝統や文化をぜひ全国の方々に発信出来る子供達」になるような学校にしてほしいものです。小人数ではあるだろうが切磋琢磨し、一生懸命取り組み、内面を大きく成長させ、心豊かな子供達になることを期待したいです。

中学校での部活動においては、個人競技の部活動しかできないのではないかと思います。チームプレーを学ぶ野球やサッカーの部活動ができることを望みます。おもいっきり運動できるグラウンドも必須だと思います。

高校受験に関して、いわき地区に学校があっても双葉郡の学校扱いになり、いわき地区内の高校を受験するのに、学区外扱いになるのでは。

役場職員のかたのお子さまは、学校が再開されれば、地元の学校に通学させるのでしょうか？

90 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

意見になるかどうか分かりませんが・・・。

震災当時、中2、3歳、4ヶ月の3児を連れての避難でした。すぐに4月・・・。学校どうしよう。悩みました。迷いました。騎西と合流することも考え、町と掛け合いました。震災後の混乱もあってか拒否されました。それを支え、助けて下さったのが、柏崎の方々です。子供達もこっちでのびのびと生活しています。

当たり前ですが、子供達は高2、5歳、2歳になりました。私にとったら、ふるさとは双葉です。本当は、今すぐにでも戻りたい。高2の息子も双葉での14年間があり、ふるさとは双葉だと言ってくれています。けれど下2人は・・・。保育園に行っていた娘は、突然友

達を失い、不安定になりましたが、今は、新しい友達と1年生になることを楽しみにしています。双葉のことは、覚えていなく、言葉（なまり）も柏崎になってきました。2歳の息子は4ヶ月だったので、覚えていないだけではなく、双葉のものを食べることなく、柏崎で育っています。この子たちにとったら、双葉ってなんなのでしょう。毎年夏に再開の集いがありますが、小中学生のみ。来年娘は、参加したいって思うのでしょうか？2歳の息子は？子供たちが帰りたいと思えないのであれば、親は戻れませんよね。幼児の再開が大切だと思います。2人に双葉のことを知ってほしいのです。子供のいない町なんてありえないのだから。子供達を第一に。子供たちのためのまちづくりをお願いします。

9 1 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

双葉町外拠点、郡山市の公営住宅を希望します。デイサービス、医療、主人も高齢者の仲間入りをした。汲々生きる、前のない不安の毎日です。安心できる、皆で楽しみながらの生活を、26年度までにつくって欲しいです。お願いいたします。

9 2 帰れないという判断を求める意見

世界最高レベル7の放射性物質を町内に拡散したところには、永久に住む場所ではない。東電は愚か者である。

- ・永久に帰らないぞ。
- ・きずなもなくなったようだし、これからの人生最後の夢を見ながら行くか。
- ・東電が廃炉まで行くうちに、もう一度とんでもない出来事が起こるから見ていな。
- ・東電には廃炉は無理だ。

- ・このようになる場所には、仮の町はつくってはだめ。
- ・裸の生活できるまでにしなければならない。

- ・まだまだあるけど終わり

【添付資料（写真）：「チェルノブイリの被災者達」あり】

9 3 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

復興住宅を、加須市に一日も早くお願いします。

9 4 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

現在、加須市旧騎西高校に避難をしています。加須市の住民も親切に接してくれます。住めば都というか、埼玉県も大変いい環境ですので、加須市内に復興公営住宅を要望いたします。

9 5 その他

今の子ども達、未来の子供たちのためにも、双葉町に最終処分場をつくるべきだと思う。福島のためにも。日本のためにも。

9 6 帰還の見通しを求める意見

帰還条件（１）（２）（３）（４）及び、判断の時期、４年後（平成２９年度）では、間に合わない。私は平均寿命まで、５年しかありません。どうにもならないのでしょうか！！

9 7 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

加須に復興住宅を建ててもらいたい。近場に買い物ができる所も作ってもらいたい。

9 8 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

埼玉にきてもう２年となり、心やさしい人ばかりです。住みやすい町でもあり、復興住宅を作ってください。孫達もいることで騎西の学校がいいからと言うのでよろしく願います。

9 9 埼玉県に復興公営住宅の建設を求める意見

双葉町の将来のまちづくりに関する意見

役場機能ごと埼玉に避難して２年３ヶ月余り、県内に戻りたい気持ちは山々ですが、現在、廃炉に向けて動き始めたばかり。これから３０年、５０年先という長い時間、又中間貯蔵施設問題も決まっていない状況。最終処分場を引き受けてくれるところは無いと思う。ここが決まらなければ復興が始まらない。双葉、大熊を最終処分場にして、目先より子孫の時代を見据え、大熊、双葉が拠点となり合併して新たな町（仮の町でなく）をつくった方が良く思う。特に双葉町は人口も少なく、子供の人口も少ないので、このままでは必然的に町として成り立たなくなると思う。（分散している為）

県内に戻りたくない住民には、埼玉県に復興災害住宅を建設してもらいたい。双葉町民だけでは人口的に少ない場合は広域的な行政で考えてもらい他町の人も一緒に住める様にしてはどうか。

100 復興まちづくり計画の評価に関する意見

加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

復興まちづくり計画（案）は多くの有識者において審議され、町民の意見や提案を踏まえての審議の結果まとめられたものであることから町は重く受け止め、本案通り確実に実行していただきたい。特に放射線に感受性の高い若者や弱年齢層には放射線から身を守り健全な命を次世代に承継させることが大事である。

その為安全な処で子孫を養育し、放射線量が下がってから（年間 1mSv 以下）、廃炉措置の安全が確保され安全に安心して生活ができる環境が整ってから帰還する。

町外拠点については、生活再建や次世代の子どもたちの養育・教育の為に放射線量が低い加須市に復興公営住宅の建設を強く要望いたします。

101 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

- ①復興住宅の早期実現
- ②病院、スーパー、銀行等あまり遠くないところ
- ③住宅は一戸建てで出来れば駐車スペースのあること
- ④現在では加須市を希望します。

102 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

- ①加須に双葉町復興住宅を作してほしい
- ②病院、スーパー、銀行などが近い所が良い
- ③住宅は一戸建てで駐車スペースのあること

103 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

加須に復興住宅の早期実現
コンビニ、本屋、病院

104 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

双葉町復興まちづくりは分散型の町になると思います。現在、加須市に住んでいます。仮設住宅等転々移動するのもいやです。双葉町も帰還困難区域となり、4年後においても帰還出来るかどうか不透明ですので、現在住んでいる加須市に復興公営住宅を要望いたします。

105 双葉町外拠点（仮の町）の整備を求める意見

- ・復興まちづくりの委員には、地元の石田医院やまどか保育園等の医療と福祉帰還も入るとより良いと思います。
- ・いわき市へ役場機能を移動し、よりいわき市への避難町民も増えると思われませんが、この資料をみますと、いわゆる県中、福島市～白河市、そして加須や会津をたしますと、いわきの避難人口より多いと感じます。一カ所への集中では距離がありすぎますので、公共的な施設や機関を分散していただけると助かります。
- ・新しい町長のもとで、よりより復興ができることを願っております。

106 帰れないという判断を求める意見

双葉町も「避難指示解除準備」「帰還困難」2区域に再編されましたが、国の言う事には従わなければならないと言っていました。除染をして本当に戻り安心して暮らせる町になるのでしょうか？双葉町に戻って生活をする人が、はたして何人いるのでしょうか？現在古い家を買ってリフォームしたり、新築をしたり、他県に家を建てたり買ったりしている人がいると思います。私は今原町に住んでいますが、この震災、東京電力の事故のため家族崩壊です。

この歳になり、後何年生きていけるかわかりませんが、ほとんどの町民が帰れないと思っているから家を買ったり、建てたり、他県に行ったりしているんだと思います。原町の人だって、まわりの除染したのを近くの空地に置くように決まり、3年たったら大熊に運ぶからと言ったそうですが、空き家を浪江の人が買い引越をして来たら「何のために原町に引越してきたか」と言って反対してダメになったという話もあります。

私が思うには、わざわざお金をかけ除染して戻るのがいかなかったら仕方がないと思います。そのお金を町民に少しでも多く補償してもらい、再出発、自立した生活が出来るようにしてほしいです。

他の県、市、町、村、除染した放射能など受入したくないと思います。地元でさえ反対しているのに、どこかで犠牲にならなくては事が進まないと思います。中間貯蔵庫と言ってないで最終処分場でいいと思います。双葉町がなくなる事は悲しい事です。双葉町で生れ育ち、60年近く生活をしてきて、双葉町は良い所だと思っていたのに仕方がないと思います。戻って生活が出来る状態じゃないのですから。町に立入して十分わかっていると思いますよ。早くはっきりすれば、町民の人達、一歩ずつ前進していけると思います。

107 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

健康第一です。年々高齢者が増えてくるのが目に見えてくる中、町づくり計画の中で、福祉対策に重点を置くことは当然です。役場と社会福祉協議会が一体となって、福祉対策を強化していかなければなりません。それには、特老せんだんや社協のデイサービスセンターの立上を行い、その中で、介護予防対策、子供達と高齢者の触れ合いなど、具体的に取り組み、内容を充実していかなければ、避難者の体力維持、ストレス解消につながっていくと思う。まずは、ふるさと（双葉町）でやっていたことを、新天地で復活させることが、復興するこ

とになると思う。

そこから、新しいことが見つかり、双葉らしいことが生まれていくでしょう。

108 復興公営住宅の整備を求める意見

早く1戸建ての住宅が建てられるように考えて欲しい。

109 復興まちづくり計画の評価に関する意見

【双葉町復興まちづくり計画案への感想】

資料①双葉町復興まちづくり計画第一次案

②同上第一次案・概要編

③同上第一次案・参考資料

④「7000人の復興会議」町民の意見・提案

I. 第一次案への期待

①三年ぶりの復興計画の策定。まちづくり委員会の皆さん、関係する皆さんに感謝申し上げます。

②行く先の見えない状況の中で、また、厳しい環境の中にあって策定されたご苦勞に感謝申し上げます。

③待ち望んでいた復興計画が策定されて、ようやく双葉郡の仲間入りができ、足並みも揃うことができ大変嬉しい限りです。

④策定された計画案は、裏を返せば「町民へのメッセージ」であり「町民の夢・町民の希望を育む」ものでありましょう。

II. 短期プログラムへの期待

①第一次案の答申を受けて、「短期プログラム・四年間の工程表」づくりを急がねばなりません。

②一般に問題意識は、提案状態と現在状態との段差が大きい時に生じると云われております。今回は、策定された第一次案がこの提案状態と置き換えられます。現在状態は当然双葉町がおかれている現状そのものなのですが、現況把握が大変なのですね。

③古い話になりますが、「復興への道（案）」というアンケート調査がありました。この調査の最大の弱点は、現況把握が大変甘かったところにあると見ています。「避難所・仮設住宅・賃貸住宅・親戚・知人宅」の捉え方では町民の実態把握の要件を満たしていません。そのために「復興への道」の筋書きが不鮮明になってしまいました。

④今回は「7000人会議」など実情を把握する活動が仕組まれていたので非常に改善されてきました。しかし、十分ではありませんので十分にさせる取り組みが残されています。

⑤双葉町の現況を一言で表現するならば「非常に特異な環境に置かれている」と、見えます。隣の浪江町・大熊町と比べても町民の避難状況は「際だっている」誤解されるか

もしれませんが「見事にバラバラだな」と、強く感じています。

- ⑥実はこの認識が非常に大事にされなければいけないのです。まちづくりの出発点はこの認識から動き出すのです。よくある話に「気持ちは判るけど、いまいちね。」と、理屈は良く判るけど気持ちが付いていかないことって意外と多いものです。もしかして、この一次案の感想にも見受けられるのじゃないでしょうか。案に問題があるわけではないのです。しっかりと理にかなった論法で説明されているわけなのに「いまいちね。」とくるのは、この背景にある、お互いの現状認識の差なのだと思います。
- ⑦3月18日あさひ新聞の小欄・南相馬支局長の佐々木達也さんの「3年目 苦悩はより深く」から一震災から1年目は『故郷に帰りたい』という一心だった印象がある。2年目に入ると、避難先での様々な日常がしがらみとなって出てくる。3年目は一。時間が経つにつれ、被災者の苦悩はより深く、複雑になっていく一。被災者の現況を的確に捉えていますね。このような状況把握の姿勢が現況分析に欠かせない要素になっているのです。
- ⑧資料「7000人の復興会議」は、貴重な資料です。このまま保存されれば紙くず同然になってしまいます。ラボの皆さんは各会場の情報収集に立ち会って「各会場で同じような意見を聞いていても、伝わる度合いが違うことに気づいた」ことでしょうか。ところがこのような資料に仕立ててしまうと伝わる度合いは消されてしまいます。この辺が調査の難しさです。
- ⑨短期プログラムを策定する上で、この貴重な「資料の再構成」が必要になってくるでしょう。少し手間はかかりますがKJ法による資料の再構成をお勧めしたいと思います。

Ⅲ. 町民へのアピール

- ①まちづくりの特性は二つ、従来の縦割り方式の行政を横断的に進めることが前提条件になります。もう一つは短期ではなく長期に取り組むところが求められます。横断的に取り組むために各課から動員されて編成される委員会方式・プロジェクトを組むことが考えられますが、長期に取り組むことは動員された職員の加重負担が大きく効果的ではありません。短期的な行事などを推進するには効果的な取り組みとして活用されています。
- ②長期展望に立つ、まちづくりの展開のためには専門部署の設置が不可欠でしょう。例えば「まちづくり課」町民へのアピールは欠かせない要素です。行政の信頼回復を図る上でも町民の立場に立ったネーミングは震災後、特に強く意識された面ではないでしょうか。
- ③仕事の中核は「双葉町復興まちづくり計画」の推進にあるわけですが特に短期的に効果的に推し進めることが要求されて来ています。そのためには、計画推進の基盤ともなる「情報の収集と分析」が最重要部門に成るでしょう。所詮シンクタンク的な比重が大きくなると云うことです。
- ④現代は情報社会ともいわれ、情報の収集は高速化されていますがやはり昔ながらの「足で集める」ことが基本になるでしょう。担当者に会い、関係者に会い、教授に会うことで入られる情報はプリントアウトされた資料よりも何十倍以上の効果を求めることが出来ます。

⑤K J法のように手間暇のかかる手法にも取り組まねば成りません。大学の研究室に教を請う、県の研修センターに教を請うことも必要になってくるでしょう。つまり、従来の行政感覚では処理できない状況に立たされているのです。当然、研究者の委嘱、専門家の委嘱等震災前までは考えられなかったことが、今はこれらのことを念頭に置いての業務処理になってきているのです。

⑥福島大学・会津大学・日大工学部などには災害関係復興再生関係の支援センターが設置されているのでそれらの機関の連携を図ることは、業務推進上の必要条件ではないでしょうか。

⑦何と言っても行政の様変わり「町民と共に希望を紡いで行く」ことなんですね。この一点に集約されているのではないのでしょうか。

1 1 0 賠償問題の早期解決を求める意見

先日の町政懇談会に参加させていただき、新町長さんの力強い決意を聞くことができ、良かったと思っています。

まちづくり構想に関しては全国に散って避難している人たちの様々な将来の考えもあると思いますので、早く個人の希望を聞いて前に進めてほしいです。

現在、国は賠償については、東電が行うものとしてほとんど介入せず、早く幕引きをしようとして、日本経済の上向きを理由に避難者を話題にすらしめておりません。

時間の経過とともに、東電も責任の重大さを認識せず、私たちが息切れしてあきらめるのを待っているような気がします。

復興の条件は、時間との闘いです。生きている間は帰れないことが明らかなのに、帰る為の整備（除染や道路屋根補修）などに経費と労力、時間を費やして一時の安心をしているのでしょうか。あちこちで、みんなが集まる集会所やカフェなどつくるのもいいですが、一部の人たちの交流でなく、一人一人が早く再建できる働きかけ（みんなが納得いく賠償）をしてもらい、早く自立の手助けをして欲しいものです。一時的なことはもういいです。双葉郡が一つになって協力し、国を動かすぐらいの力は残っていると思います。でも、時間の経過とともに、それは弱くなります。どうか思い切った勇気ある行動をお願いします。私たちもどこまでも協力します。

1 1 1 復興まちづくり計画の評価に関する意見

双葉町の将来のまちづくりに関する意見

賠償問題の早期解決を求める意見

中間貯蔵施設の取扱いについて議論を求める意見

NO.1

双葉町復興まちづくり計画（第一次）案（以下、第一次案と述べます）の作成に関わって、こられましたまちづくり委員の皆様をはじめ、町職員の方々の今日までのご苦勞、ご尽力等に心から敬意と感謝の気持ちを申し上げます。

以下、第一次案について、大きく何点か要望等を述べますが、是非ご配慮、実行等をくださるようお願いいたします。

1、復興の進め方として（第一次案の P8）に、「まず、①“現在の不自由な避難生活を早急に改善した上で、②当面の課題として、町民一人一人が生活再建を果たし、③町民のきずな（コミュニティ）を再興する。「人、町民の復興」を目指します。」とあるように、この3点の実現に全力を尽くしてください。そのため、特に、「町民1人1人の生活再建と不自由な避難生活の改善」を図ることです。中でも、第一次案の概要①注1にあるように、町民1人1人が、ア、それぞれの希望する場所で、イ、居住を確保し、ウ、仕事や生きがいなどの生活の糧を見つけて、エ、日常の生活を取り戻すこととあります。これら4点を、復興の基本的な考え方（第一次案 P7 にある）を基盤にして、強力に具体的な施策を立て、実行・実践してください。

2、注1の生活再建を図る（実現する）ために・・・。「キーワードは」→賠償・補償です。

私たち町民1人1人の避難は、町民の責任ではなく、東電・国が安全神話の下で原発を運営してきた結果です。それ故、町民には被災者として、賠償・補償を求める権利があるのに、東電、国の設定？した基準で、賠償額等を決め、支払う体制になっています。形のうえでは、仲介和解や裁判による、解決の方法はありますが、町民1人1人が単独で行うには色々な面で、力不足、時間の問題等があり、困難であります。町が、浪江町のように他と連携して解決して欲しい（現在の補償額では、住居も確保できず、生活も大なる不安です。）

NO.2

3、第一次案の P13 以下等に述べられているごとく、町の復興のゴールは、町への帰還と、町の復興であると言ってよいと思います。また、第一次案の作成は、7000人の復興会議と町民意向調査の調査結果等を客観的な資料として、活用していることにも異論はありませんが、（第一次案 P10～の諸資料・・・）→会議や意向調査の参加者等の集団の大きさ、属性（男女、年齢）等が、十分考慮されているのか、もう一度施策の立案、決定する際に配慮して欲しいものです。ちなみに、

（1）7000人の会議では、（3事業において・・・）

・述べ1150人の参加で、6805件（一人当たり5.9件）→百分率で、 $1150/7000 \times 100 \rightarrow 16.4\%$
性別、年齢、職業等は不明・・・資料として、言葉としても説明なし。

（2）意向調査では（参考資料集 P23 以下）（回収率 59.0%、3710人）

・40代以下 35.5%、50代 18%、60代 18.6%、70代以上 24.4%→回答者（50代～70代以上 61%）

・女性 49.9%、男性 45.1%

・震災発生時の状況（資料集 P24）→無職 32.5%

（同上 P26 現在 56.7%、職を探していない 68.9%）（P27：資料集）

・その他の意向調査の調査結果を、施策を決めるうえで、十分に考慮して欲しいもので、大切ですので、重ねて申しあげました。

(3)(1)(2)をふまえて、仮の町を構想し、一大施策として、実施していかれるのかと考えますが、「町の帰還までの道のりは長く長く、仮の町づくりも完成まで遠く遠く感じる人は、私たちばかりではないと思います。それ故、仮の町づくり一辺倒にならないで、前に述べたように町民1人1人の意見を最大限に尊重してほしいと思っています。その根拠として、①資料集 P30(1)(2)、特に留意ください。(仮の町の移動・移転の希望と待つことのできる期間)

②その他、資料集の P32 以降の各調査結果

特に、仮の町の構想が町の最大施策となる位置付けのように考えていますので、そのロードマップは、詳細(実施策の時期、具体策と各予算(誰が負担するのか)の根拠の額の見通し等々)に明示して欲しいものです。

私は、第一次案の P8 の最下段に述べられているように、「いわゆる仮の町は、生活再建するための場所の選択肢の1つとして、また、町民のきずなの拠点として、町民の希望に沿った整備を求めています」でよいと考えます。

NO.3

4、(復興まちづくり)第一次案第3章「双葉町の復興まちづくりに向けた取組」以下の各事項を見てみると(第一次案 P21~P90)町民の意見、町づくり委員会としての考えや諸施策が、網羅されてより、大変素晴らしい第一次案が作成されました。改めて、疎の御苦勞にはお礼申し上げます。

そこで、町民1人1人の生活再建と町の復興に向けて、町として取り組むべき施策を明らかにされたことまことに嬉しく思いますが、膨大な施策、先の見通すことのできない社会・自然状況等を考えますと、この第一次案の遂行は大丈夫か・・・と大きな不安、心配が湧いてきます。その第一のことは、

(1)復興・再興に向けた道のりを3分割(短期、中期、長期)し、現在から4年後とした短期の取組に特に大きな危惧を持っています。それは、(NO.2)で、詳細なロードマップの作成(工程表とも言われているが)をお願いしました。

①短期の時期を明示されましたが、諸施策の実施時期・期間・担当者・予算額と根拠等々をいつ頃明示されるか、また、中期、長期はいつ頃を目安としているのか。

(2)中間貯蔵施設の建設や廃炉作業の収束等に向けて、どのように取組むのか。私は原発の所在地から3KM圏内に居住しているか
→町の考えの説明、国の対応も全く分かりません。計画に影響はないのか。

(3)いろいろな状況を考えますと、NO.1に述べましたように、私自身の生き方を明確にするため、生活再建のための最大の力となる補償・賠償について、町民1人1人がある程度

納得できる額を手に入れられるよう、町長さんをリーダーとして、町議、会議等のご尽力を早急にされるようお願いいたします。

1 1 2 復興まちづくり計画の評価に関する意見

双葉町の将来のまちづくりに関する意見

復興まちづくり計画（第一次）案について感想を書きます。

ふるさとへの帰還と双葉町の再興へ向けた取組の内容について、最低限のラインと位置し、最短で検討していく必要があると感じました。

子どもたちやその父母たちは、長くなればなる程、避難先が第二のふる里となり、年数が重なれば第一のふる里に変化していきます。若者が帰還するには、働く目玉が必要であり、その目玉案件を何にするのか？1 or 2 年中に明確にする必要があります。仕事が発生すれば、人は動き、人は集まることが明確ですので、既存住民・他県人に問わず集まれる施設・宿泊先・会社・病院・スーパー他、生活環境を整えるのが第1条件です。

働く目玉：中間貯蔵施設員（警備・運転補助・メンテナンス・管理員 etc.）

↓

：永久貯蔵施設員（同上）

（案）であり、町民・町・県・国との理解が最重要ですが、数十年～数百年、元の非汚染町には必要な年数に思われることを町民も理解し、受け入れることも検討が必要です。

1 1 3 帰れないという判断を求める意見

二年過ぎても先行きが全く見えず、不安と健康の心配の日々です。町民の帰還が何年後には大丈夫と言える確約もない現状では町外で生活しているしかありません。除染したから絶対でもなく思います。

無駄な除染になってしまうのだから町の復興にお金を使った方がいいのではないのでしょうか。元の双葉町に戻すなら町全体で住む広大な土地の確保、学校、住宅、病院、保健、医療、交通等の施設を早急にやることです。原発が収拾もしてないのに町に帰れるのでしょうか。国も東電もはっきりしてないし、帰還を促す前に常磐線を復活させたり、道路の整備、電気、水道を通し、完全にしてから帰還させるべきです。荒れ果てた町、我が家を見て前に戻す勇気は出ません。一日も早い国の援助を求めたいです。

1 1 4 帰還の見通しを求める意見

中間貯蔵施設の取扱いについて議論を求める意見

東日本大震災から早くも2年3ヵ月を迎えようとしておりますが、月日の過ぎるのは本当に早いものです。

やっとなんと言いますか、賠償の方も本賠償になってきましたが、これでよしという満足のものでもなく、最近では中間貯蔵が一番の「カギ」であろうと思われまいます。夢物語ではなく、現実を見据えて物事を考えていく時が来たのではないのでしょうか。家に戻る戻らない、他のことにしても、100:0 はないでしょう。何事も 100:0 であれば問題もないし、簡単なのですが、60:40、70:30、40%、30%の人達の考えや想いを無視するのではありませんが、民主主義の原理でもありませんが、いずれ遅かれ決断する時が来るのでは。双葉町が大きく転換するでしょうが、ある意味やむをえない（残念ながら）こともあるでしょう。

一番の問題は中間貯蔵に対する進め方では。相手はなかなか手強いですよ。相手が双葉町、双葉郡の人をどのように思っているか、そこがところが一番重要なんですな。

双葉町復興まちづくり計画（第一次）案に対する意見

＜町政懇談会：平成 25 年 5 月 18 日～26 日実施＞

※表題部分の区分は、帰還の見通し・帰れないという判断を求める意見、双葉町外拠点（仮の町）・復興公営住宅の整備を求める意見、埼玉県・加須市・白河市に復興公営住宅の建設を求める意見、賠償問題の早期解決を求める意見、除染の早期実施を求める意見、中間貯蔵施設の取扱いについての議論を求める意見、双葉町の将来のまちづくりに関する意見、復興まちづくり計画の評価に関する意見、その他（これらに当てはまらない意見）に区分し、主な内容と思われるものを対象として分類しました

1 復興まちづくり計画の評価に関する意見

復興まちづくり計画案は大変立派なものである。

2 除染の早期実施を求める意見

復興まちづくり計画案では 4 年後に帰還困難区域の見直しを行うとあるが、それまでの間に、放射線量を低くする策はあるのか。

3 賠償問題の早期解決を求める意見

復興まちづくり計画案には、町民一人一人の復興と書かれているが、個人の賠償問題について町としても支援してほしい。

4 その他

復興まちづくり計画は、短期・中期・長期の取組を記載しているが、特に短期的な取組について何を重点に考えているのか。

5 その他

復興まちづくり計画案について今回説明があったがその姿勢に感謝している。今後とも、情報を共有化し、町民の意見が反映されるようにしてほしい。

6 その他

復興まちづくり委員会の委員はどのようにして選ばれたのか。

7 その他

復興まちづくり計画は、中・長期についても計画を詳細に記載すべき。

8 中間貯蔵施設の取扱いについて議論を求める意見

復興まちづくり計画とあわせて、中間貯蔵施設の問題についても考えるべき。

9 帰還の見通しを求める意見

4年後に除染して双葉町へ帰れるという見込みで復興まちづくり計画案は作られたのか。

10 その他

復興まちづくり計画案の「帰還に関する町民の考え」について、回答数は町民の意見と言うに足るものなのか。

11 その他

計画案 11 ページの「n」の回答数は、全数なのか全数に満たないのか。

12 賠償問題の早期解決を求める意見

復興まちづくり計画案において「賠償が迅速、確実、十分に行われるよう、国・東電に要求していくなど、賠償問題の早期解決に向けた取組」とあるが、町として具体的にどのような応援をされているのか。

13 その他

復興まちづくり計画に書いてある町外拠点についてその恩恵にあずかることができない町民との不公平感があり、各避難先住民に対するサポートはどうするのか。

1 4 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

事故からすでに2年経過している。復興まちづくり計画の長期の復興・再興期が終了した時点で町民がいない町が出現するのではないか。

1 5 その他

「歴史・伝統・文化の記録と継承」と復興まちづくり計画に記載されているが、持つてくることができる文化財について、倉庫を作る等して保存してほしい。

1 6 加須市に復興公営住宅の建設を求める意見

埼玉県内に復興公営住宅の建設を希望する。

1 7 復興まちづくり計画の評価に関する意見

復興まちづくり計画案について、4年後、5年後と言わず、すぐに実行してほしい。

1 8 復興公営住宅の整備を求める意見

県外での復興公営住宅の建設を希望したい。

1 9 その他

復興まちづくり計画案には、「自ら自宅を再建する町民に対する支援拡充」とあるが、県外で自立していくことを促す取組をもっとすべき。

2 0 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

「復興・再興に向けた道のり」における中期と長期の期間は具体的に何年くらいか。

2 1 その他

復興まちづくり委員会の委員は加須にいる方で構成されたのか。

2 2 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

4年後に帰還について判断するとあるが、4年間のうちに町民の考えも変わってくる。4年後に何人の町民が町へ帰るのか。

2 3 その他

計画案で「連絡をとりあえる仕組みの構築」の中に電話帳の整備とあるが、これは、個人情報漏えいに該当するのではないか。

2 4 その他

復興まちづくり計画案にある教育環境の確保に関し、その具体的な内容を教えてほしい。魅力的な学校になっていないと学校の再開の意味がないと思う。

2 5 白河市に復興公営住宅の建設を求める意見

白河にも復興公営住宅を建設してほしい。

2 6 復興まちづくり計画の評価に関する意見

計画案はよくまとまっているが、このままでは絵に描いた餅になってしまう恐れがあるので、国・県を動かして実現させてほしい。

2 7 帰還の見通しを求める意見

これまで2年以上我慢してきたのに、さらに4年間も我慢しなければならないのか。4年後には帰還できるのか。

2 8 復興まちづくり計画の評価に関する意見

計画案にスピード感がないのではないか。

2 9 復興まちづくり計画の評価に関する意見

計画案をまとめるために使った費用に対する費用対効果がないのではないか。

3 0 復興まちづくり計画の評価に関する意見

計画案は双葉町としての特徴に欠けているのではないかと。

3 1 その他

計画案には高齢化社会対策に触れられていないように思われるが、今後町としてどう考えるのか。

3 2 復興まちづくり計画の評価に関する意見

この計画案はよくまとまっているが、今現在、町民が直面している生活対策を盛り込んでもいいのではないかと。

3 3 その他

この計画案についてまず何を最優先にやっていくべきと考えているのか。

3 4 双葉町の将来のまちづくりに関する意見

ロードマップを作成し、未来の復興ビジョンをはっきり示してほしい。「復旧期」とはいつまでなのか。

3 5 復興まちづくり計画の評価に関する意見

復興まちづくり計画案はよくできていると思う。これを確実に実行していかなければならない。

3 6 賠償問題の早期解決を求める意見

復興まちづくり計画案には「迅速、確実、十分な賠償」とあるが、町として具体的にどう進めていくのか。